養育費等に関する申告書

（表面）

※　えびの市

※　受付年月日　令和　　年　　月　　日

○　前年（１月から１２月までの１年間）に受け取った養育費について、裏面の記入要領に従い、受け取った月ごとに記入してください。

養育費を支払った者　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受取人　　母又は父　・　児童

離婚した年月日など　　平成・令和　　年　　月　　日

養育費として受け取った額(令和　　年分)

１月	円	７月	円
２月	円	８月	円
３月	円	９月	円
４月	円	１０月	円
５月	円	１１月	円
６月	円	１２月	円
		小計	円

養育費を支払った者　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受取人　　母又は父　・　児童

離婚した年月日など　　平成・令和　　年　　月　　日

養育費として受け取った額（令和　　年分）

１月	円	７月	円
２月	円	８月	円
３月	円	９月	円
４月	円	１０月	円
５月	円	１１月	円
６月	円	１２月	円
		小計	円

合計	母又は父	円
	児童	円

上記のとおり相違ありません

令和　　年　　月　　日

氏名

(注) 1　認定請求の際に本申告書を提出する場合において、前年（１月から９月までの間に請求する者にあっては、前々年とする。）中に支給要件に該当するに至った場合は、その支給要件に該当するに至った日以降に受け取った額を記入してください。

2　上記の※の欄は、市の担当者が記入するので、記入する必要がありません

3　記名・押印に代えて署名することができます。

（裏面）

養育費等に関する申告書の記入要領

１　この申告書の目的・趣旨

・この申告書は、前年に前夫又は前妻から養育費を受け取っているのかどうか、さらに受け取っている額を確認するためのものです。

２養育費について

・　前夫（児童扶養手当の支給対象となっている児童の父。以下同じ）又は前妻（児童扶養手当の支給対象となっている児童の母。以下同じ）から前年（１月から１２月までの１年間をいいます。ただし、１月から６月までの間に請求する人の場合には前々年をいいます。）に受給者（母もしくは父）又は児童が受け取った金品その他の経済的利益（以下「養育費」といいます。）がある場合には、その額を記入してください。

・　養育費は、児童扶養手当施行令３条により、児童扶養手当制度における所得となりますので、正確に申告してください。

・　養育費の合計額の欄に記入した額を、認定請求書の㉛の欄、所得状況届の⑪の欄又は現況届⑮の欄に記載して下さい。

・　養育費として含まれるのは、具体的には別紙で定めるものです。

・　前夫又は前妻が複数あり、それぞれから養育費を受け取った場合には分けて記入し、「養育費を支払った者」欄にその者の名前等を記入して下さい。前夫又は前妻が１人の場合には、「養育費を支払った者」欄は空欄で結構です。

・　「離婚した年月日」欄には、「養育費を支払った者」欄に記載した前夫又は前妻等と離婚した年月日等、支給要件に該当するに至った年月日を記載して下さい。

・　次の例を参考に記入して下さい。

養育費を支払った者　　○　○　　○　○

受取人　　母又は父　・　(児童)

離婚した年月日など　　平成・(令和)　　年　　月　　日

養育費として受け取った額（令和　　年分）

１月	円	７月	10,000円
２月	円	８月	10,000円
３月	円	９月	10,000円
４月	円	１０月	10,000円
５月	10,000円	１１月	10,000円
６月	10,000円	１２月	10,000円

小計	100,000円

養育費を支払った者

⋮

合計	母又は父	0円
	児童	100,000円

上記のとおり相違ありません

令和　　5年　　8月　　14日

氏名